

I 新たな歴史と伝統に挑む

I-1 野球聖地・名所150選認定

江幡 秀則

水府倶楽部 昭和47年卒
(株)ヤクルト球団専務取締役



私は昭和47年の卒業ですが、44年秋から47年春まで体育館建設工事のためグラウンドが使用できず、当時移転したばかりの水戸農業高校跡地（現県立歴史館）までバスで通い練習しました。練習環境が劣悪で部員も集まらず常に先発メンバー+2~3名で試合をしていた思い出があります。

夏の大会は残念ながら3年間一度も試合後に母校の校歌を聞くことはできませんでしたが、2年の秋の新人戦県大会では太子高校、水戸工業高校相手に二試合連続ノーヒットノーランで勝ち進んだり、3年の5月の栃木遠征ではその年の選抜甲子園大会に出場した作新学院のレギュラーメンバーと1対3の好ゲームを展開したりと、それなりに注目されたチームではありました。

数少ない野球部同級生の中には、現JFEホールディングス社長の柿木厚司君や、昭和58年茨城東高校が夏の甲子園大会に出場した際に監督としてチームを率いた中根栄君（故人）など、逆境の中で頑張りぬきその後の人生に生かした仲間もいます。

今年は1872年に外国人教師として来日したアメリカ人ホレス・ウィル



ソン氏が日本に野球を伝えてから150年という記念すべき節目の年にあたります。これからの野球界のより一層の発展に向けて、プロ・アマが合同で野球伝来150周年記念事業を立ち上げまし

た。その目玉となる事業が8月1日に開催されたプロ・アマ記念試合「U-23NPB選抜対大学・社会人選抜」であり、水戸一高が認定された「日本野球聖地・名所150選」であります。私もプロ側の委員として野球伝来150周年事業の企画立案に関与しており、「野球聖地・名所150選」の企画では水戸一高が認定されると確信していました（私が恣意的にこの企画を立ち上げたわけではありません。念のため）。

水戸一高は、日本の学生野球の発展に多大な貢献をしたことから学生野球の父と呼ばれた飛田穂洲先輩と、伝説となった早慶6連戦



を指揮し日米大学野球選手権大会の創設に貢献された石井連藏先輩の二名の野球殿堂入り者を輩出しています。プロ野球選手として野球殿堂入りした人物を除くと、二名の野球殿堂入りを輩出した高校は水戸一高しかありません。

水戸一高は150年前に日本に野球が伝来して19年後には野球部が設立され、その長い歴史の中で野球界に貢献した幾多の先輩や名選手を輩出してきました。強い時代も、弱い時代もありまし



たが、現役の君たちもその長い栄光ある歴史の1ページに刻まれる野球部員であるという矜持を持ってひたむきに野球に取り組んでください。その経験はこれからの君たちの人生に力を与えてくれるはずです。

I-2 特色選抜入試への期待 森 利克 (事務局長)

本年3月の入試から水戸一高でも特色選抜が導入されました。ホームページで公開された出願要件は、

- (1) 本校の教育を受けるに足る資質・能力を有する
- (2) かつ野球において入学後も硬式野球部に所属し学業との両立を図る強い意志がある
- (3) 中体連主催地区大会や準ずる大会で主力として出場または地区選抜以上の選手

であり、募集枠は入学募集者の3% (7名) でした。可否は学力検査、調査書、面接、実技検査を合わせて判定され、今年度は募集枠最大の7名が合格し、一般入試を合わせ計14名が入部しました。その中にはシニア、ボーイズ、県及び地区選抜メンバーとして活躍した球児も含まれており、入部3カ月ながら先月の茨城大会では4名が先発出場し、途中出場を含め計5名が出場して活躍しました。第二シードのつくば秀英相手には1-2と惜敗しましたが、今後に大きな期待が膨らんでいます。

右表にまとめたように、令和3年度は全国の主な県立高校の約30%が特色選抜や推薦入試を実施しており、それを内容別に見てみると、

- (1) 野球対象
静岡 (入学募集枠の3%)
- (2) スポーツ対象
旭丘、松江北、長崎西、宮崎西
- (3) 全部活対象
秋田、盛岡一、仙台二、宇都宮、前橋、日比谷、高松、城東、修猷館、佐賀西、上野丘、熊本、鶴丸

となっています。空欄は情報なしです。

静岡高校は以前から実施しており、度々甲子園へ出場しています。

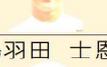
県内の高校では全部活対象に12名 (日立一・太田一・下館一) ~ 46名 (水戸商) を特色選抜・推薦で募集しています。

主要県立校の令和3年度特色選抜実施状況

No	所在県	校名	募集定員	特色選抜・推薦枠	備考
1	北海道	札幌南	320	—	全日制
2	青森	弘前	240	募集定員の10%	
3	秋田	秋田	275	東北大会以上・指定強化選手28 (文化活動含む)	前期選抜
4	岩手	盛岡一	280	推薦入試28 (顕著な実績)	
5	山形	山形	240		
6	宮城	仙台二	320	10% (32)	
7	福島	安積	280	5% (14)	
8	新潟	新潟	280	—	
9		日立一	240	12	
10	茨城	太田一	200	12	
11		水戸一	240	野球特色3% (7)	令和4年度
12		水戸商	280	46	3学科計
13		鉾田一	240	24	
14		土浦一	280	—	
15		龍ヶ崎一	240	20	
16		下館一	240	12	
17		下妻一	280	28	
18		水海道一	280	28	
19	栃木	宇都宮	280	23 (合格者)	
20	群馬	前橋	280	中学部活動顕著な活動実績 入学後部活動意志考慮	
21	千葉	千葉	320		
22	埼玉	浦和	360		
23	東京	日比谷	320	推薦63	
24	神奈川	湘南	360		
25	山梨	甲府南	240	特技32 (部活動顕著な実績)	前期募集
26	静岡	静岡	280	3%程度 (野球の実績・適性・意欲)	
27	長野	松本深志	280		
28	岐阜	岐阜	360		
29	富山	富山中部	280		
30	石川	泉丘	400		
31	福井	藤島	336		
32	愛知	旭丘	320	推薦選抜 (スポーツ科学)	
33	滋賀	膳所	320		
34	三重	四日市	320		
35	和歌山	桐蔭	200		
36	奈良	奈良	360		
37	京都	堀川	240		市立
38	大阪	北野	320		
39	兵庫	神戸	360		
40	岡山	岡山朝日	360		
41	広島	国泰寺	280		
42	鳥取	鳥取西	280		
43	島根	松江北	280	スポーツ特別選抜	
44	山口	山口	300		
45	香川	高松	280	自己推薦選抜	
46	愛媛	松山東	360		
47	徳島	城東	280	特色選抜	
48	高知	高知追手前	280		
49	福岡	修猷館	400	推薦入学者選抜・特色化選抜	
50	佐賀	佐賀西	240	特別選抜 (実技)	
51	長崎	長崎西	280	前期選抜 (文化・スポーツ特別選抜)	
52	大分	上野丘	320	推薦入試	
53	熊本	熊本	400	前期 (特色) 選抜	
54	宮崎	宮崎西	360	スポーツ推薦	
55	鹿児島	鶴丸	320	推薦入学者選抜	
56	沖縄	開邦	240	推薦入学	

I-3 部員たちの決意 (部員紹介)

No.	学年	氏名	ポジション 投打	出身中学	決意・目標
1	2	村田 遼真 	主将 内野手 投手 右投右打	緑岡	主将の村田遼真です。このチームは、2年生4名、1年生14名、マネージャー1名で活動しています。前チームから夏の大会にも出場していた1年生が多く、1年生が主体のチームです。今年度から特色選抜が始まり、水戸一高野球部の長い歴史の中でも、今変革の時期にあります。念願の甲子園出場を現実にすべく、日々練習に打ち込んでいます。また、「全力疾走・タイムマネジメント・身だしなみ・気遣い」の4つを軸にし、自分たちの強みにできるように、日本一のレベルを目指して取り組んでいます。夏の大会では、コロナウイルスの影響で3年ぶりとなった全校応援を初めて経験し、応援の力を実感しました。応援されることへの自覚を持ち、学校生活でも責任ある行動を心がけています。主将としてチームを勝利に導くために、選手1人1人とのコミュニケーションを増やし、各々の良さを引き出せるようにしていきたいです。そして、チャンスやピンチなどの重要な場面で堂々と、ガッツのあるプレーで決められる選手になれるよう努力していきます。互いに高いレベルを求め合い、日々の1球1球に魂を込めて、甲子園に向け全力で進んでいきます。今後とも応援宜しくお願いします。
2	2	関 琢未 	投手 右投右打	那珂四	このチームで来夏の甲子園出場をかなえるために自分がすることは、投手として責任を果たすことだ。目の前の1つ1つの課題をつぶして日々成長し、チームを勝たせられる選手にこの1年であってみせる。

No.	学年	氏名	ポジション 投打	出身中学	決意・目標
3	2	平塚 惇和 	内野手 右投右打	友部二	実力のある1年生を自分が背中で引っ張るには、もちろん自分の技術もあるが、現状、それ以上に練習の姿勢で引っ張ることが大切だと思う。それで自分の技術も向上するし、他の選手にもいい影響を与えられると思う。そうやって先輩としての役割を果たしたい。
4	2	三浦 太輝 	外野手 右投右打	駒王	他の人がすぐに習得できることが自分にはできなくて、何度も悔しい思いをしてきましたが、甲子園に行くために、残り一年で必死に食らいついて、このチームとともに“一球入魂”の精神で日々精進していきます。
5	2	井澤 更紗 	マネージャー	友部	「支える」だけでなく「共に戦う」マネージャーを目指し、積極的な行動、声掛けでチームを良い方向へと導き、水戸一高野球部に欠かせない主力となれるよう努力していきます。そしてこのチームで甲子園に行きます。
6	1	秋田 悠人 	副主将 捕手 右投右打	美野里	僕は夏に甲子園に出場するために、まず体の面でパワーアップしたいと思います。食事とトレーニングで体を大きくすることや、連戦を勝ち抜く体力をつけること、怪我をしないようケアをすることを頑張りたいです。
7	1	江口 偉大 	投手 右投右打	東海	ピッチャーとしてチームを勝利に導くために常に自分の行動に自覚と責任を持ち、刻一刻と迫る時間を一瞬たりとも無駄にすることなく全力で野球と向き合う。全ては来夏、甲子園の舞台に立つために。
8	1	大内 健太郎 	内野手 右投右打	勝田一	客観的に周りのプレーを見ることで得た新しい視点をいかし、根拠ある予測に基づいた攻めの守備を行う。そのために相手の動きを観察し、タイミングなどからギリギリの球際をアウトにすることができるようなポジショニングをとる。
9	1	大内 康聖 	内野手 捕手 右投右打	那珂湊	前チームでの最後の試合が終わり、結果的に一点差での敗戦となった。そういった試合をものにする為のあと1点、あと2点をどうやって生み出すかを日々考えていきたい。全員がやり返すと言う気持ちを持って、一丸となって甲子園出場を目指していく。
10	1	小川 永惺 	投手 右投右打	世矢	私は水戸一高で勝負に勝てるピッチャーになって、みんなを甲子園につれて行きます。そのために、日々のトレーニング、一球一球を無駄にせず全力で取り組み、仲間から認められ、圧倒的なピッチングで相手から嫌がられるようなピッチャーを目指し努力します。
11	1	鈴木 裕斗 	内野手 投手 右投右打	城西	新チームの目標は、「来夏の甲子園出場」です。これは、中途半端な覚悟では成し遂げられないと思っています。自分が技術面も、精神面も大きく変わり、チームに良い影響を与えられるよう、日々成長を続けていきます。
12	1	園部 晴大 	副主将 内野手 右投右打	勝田二	1年生の春から大会に出させてもらい、様々な経験をしてきている分、新チームでは誰からも頼られ、ここぞという場面で勝負強さを見せられる選手となる。そして、来夏甲子園に出場できるように努力し続ける。
13	1	津田 誠宗 	副主将 外野手 右投右打	茨城大 附属	副主将として、行動・声・プレーの全てでチームを引っ張っていきます。プレイヤーとしては、攻撃でも守備でもいつもチームにいい流れをもってこれるよう、常に結果を残すことができる選手になります。
14	1	鳥羽田 士恩 	外野手 右投左打	茨城大 附属	「雨垂れ石を穿つ」という自分のモットーの言葉通り、小さいことを積み重ね自分を最大限に成長させ、チームの中で自分が求められる役割を全うする。また、大谷翔平選手のように誰からも応援されるような選手になる。
15	1	星 数馬 	内野手 右投左打	茨城大 附属	水戸一高硬式野球部に入部して早4ヶ月。夏大では1点差と惜しいゲームで勝てず悔しさが残りました。その悔しさをバネに、「夏甲子園で全国制覇」という目標を変えず懸命に努力していきたいと思っています。
16	1	堀田 大雅 	内野手 右投左打	玉造	私はまだまだチームに貢献できていない。流れを見極め、隙を突いた走塁、野手の間を破る打撃、周りに声をかけながら冷静にボールを捌くなど、高めなければならないことはたくさんある。だが、道半ばでさまざまな困難に当たるだろう。しかし、甲子園出場のため超えてみせる。
17	1	松川 航大 	外野手 投手 右投右打	美野里	私はまだまだ未熟で、野球の技術はもちろん、礼儀などの生活面でも成長しなければならないことがたくさんあります。来夏、甲子園に出場するために、また、応援されるチームになるために一球を大切に、練習に励んでいきます。
18	1	宮川 陽充 	内野手 右投左打	友部	来年の夏に甲子園出場し、全国制覇することが水戸一高野球部の目標だ。そのために普段の練習から一球一球を大切に取り組み、全力疾走、タイムマネジメントなどの決め事を怠らない。個々の技術も底上げし、勝ちを掴み取る。
19	1	渡辺 悠太 	副主将 内野手 投手 左投左打	双葉台	いつも温かいご声援ありがとうございます。私の持ち味であるチームを引っ張る声、長打力に更に磨きをかけ、チームの目標である「来夏の甲子園出場」を達成すべく目の前の一球一球に思いを込めて日々過ごしていきます。



令和4年7月9日 ひたちなか市民球場

水戸一野球に親子で感謝

高村 純平

令和3年度硬式野球部父母の会会長

息子泰彰は物心がついた頃から7つ違いの兄や3つ違いの姉と一緒に野球で遊び、大好きな広島カープの試合では応援歌を口ずさみながら見ていました。

小学1年で日立南リトルリーグに入り、中学では日立ボーイズに所属し、休日は全て野球漬けの日々。中学3年の夏、日立一高と水戸一高の硬式野球部の体験入部に参加しましたが、水戸一野球に魅力を感じて受験勉強に拍車がかかり、念願の水戸一野球部員になることができました。

コロナ禍の影響で1、2年の時は練習も制限され、地域別の自主練習の時期もありましたが、子供たちは甲子園という目標に向かってひたむきに取り組み、

1年の時は夏大に代わる茨城県独自の大会でベスト16。2年の時は春大県ベスト4、夏大県ベスト8に進みました。



熱い暑い 今年は全校応援が復活

そして3年の今年の大会は全校応援が再開。最後の夏を迎えました。

◇【一回戦】対波崎高校

二回裏1死から高村の右越三塁打、秋田(悠)君の中犠飛で1点を先制。四回裏は連続四球と盗塁などで二、三塁と好機を広げ、またも秋田(悠)君の右犠飛、眞田君



先発 江口君の力投

の左犠飛で2点を追加。8回には押し出しで1点追加し4点目。守っては先発江口君の粘り強いピッチングと堅い守りで、4対1で勝利しました。

◇【二回戦】対つくば秀英高校

1回裏右犠飛で1点先制されるも、2回表村田君が中前打で出塁、その後3塁に進め、秋田(悠)君の右前適時打で同点。5回裏に2点目を許すも、以降7回裏の野口君の好守などで無失点に抑え9回へ。無死1、2塁とチャンスを作り追い上げるも、あと一歩及ばず試合終了。1対2の接戦で敗れたものの、春季大会準優勝の強豪校相手に怯むことなく果敢に戦った選手たちに、観客の大きな拍手が球場全体を包みました。



秋田(悠)君の右前適時打



夏大は終わりましたが、伝統ある水戸一で勉強と野球を両立した三年生は、かけがえのない自信と誇りを手にしたことと思います。

また親として父母の会の皆さんとの出会いに恵まれて、とても楽しく充実した日々でした。各家庭も、朝早くからのお弁当づくり、泥だらけのユニフォームの洗濯、送り迎えなど負担もあったかと思いますが、子供たちが球場で元気に野球に取り組んでいる姿を見て心が癒されたことと思います。



父母の会

131年の伝統ある野球部の歴史の1ページを親子で大いに楽しむことができ、指導者をはじめ、三の丸倶楽部、水府倶楽部、父母の会などお世話になった方々に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今年から水戸一高は野球の特色選抜入試が始まり、新たな時代を迎えました。特色選抜で入部した生徒と一般で入部した生徒が切磋琢磨し、伝統を大切にしながら新たな時代を切り拓いていく水戸一野球部をこれからも温かく見守っていきたいと思います。

令和4年 茨城大会

一回戦 令和4年7月9日(水)
 球場:ひたちなか市民球場(L100m・C122m・R100m)
 天候:晴・曇
 試合時間:2時間12分(9:25~11:37)

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
波崎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
水戸一	0	1	0	2	0	0	0	1	X	4

出場メンバー・背番号・学年

1番	レフト	中村・7	3年
2番	センター	津田・8	1年
3番	セカンド	園部・4	1年
4番	ファースト	中山・3	3年
5番	ショート	村田・6	2年
6番	サード	高村・5	3年
7番	キャッチャー	秋田(悠)・2	1年
8番	ライト	真田・9	3年
	8回代打	河原井・12	3年
	9回ライト	秋田(啓)・10	3年
9番	ピッチャー	江口・11	1年
	7回	野口・1	3年
	7回1/3	小川・15	1年



4回高村君が
タッチアップ ホームイン



リリーフ 小川君

ベンチ入りメンバー・背番号・学年

日下部・13・3年	大内(健)・14・1年	宮川・16・1年
柴田・17・3年	内田・18・3年	渡辺・19・1年
鳥羽田・20・1年		

三塁打:高村(2回)
 単塁打:園部(1回・8回) 中村(3回) 真田(7回) 津田(8回)

二回戦 令和4年7月13日(日)
 球場:ノーブルホームスタジアム水戸(L100m・C122m・R100m)
 天候:晴
 試合時間:2時間2分(11:26~13:28)

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
水戸一	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
つくば秀英	1	0	0	0	1	0	0	0	X	2

出場メンバー・背番号・学年

1番	レフト	中村・7	3年
2番	センター	津田・8	1年
3番	セカンド	園部・4	1年
4番	ファースト	中山・3	3年
5番	ショート	村田・6	2年
6番	サード	高村・5	3年
7番	キャッチャー	秋田(悠)・2	1年
8番	ライト	真田・9	3年
	7回代打	日下部・13	3年
	7回ライト	野口・1	3年
	9回代打	秋田(啓)・10	3年
9番	ピッチャー	江口・11	1年
	9回代打	河原井・12	3年



応援団も暑い

ベンチ入りメンバー・背番号・学年

大内(健)・14・1年	小川・15・1年	宮川・16・1年	柴田・17・3年
内田・18・3年	渡辺・19・1年	鳥羽田・20・1年	

単塁打:村田(2回) 秋田(悠)(2回・7回) 園部(4回) 中村(5回) 津田(8回) 中山(8回)



Ⅲ シリーズ「大学野球を目指す後輩部員たちへ」

見坂 恒輝

令和3年卒

こんにちは。東京大学理
 科二類所属、大学2年の見
 坂恒輝です。東京大学硬式
 野球部で主に外野手として
 プレーしています。

東大野球部は東京六大学野球連盟に属し、他に
 早稲田、慶應、明治、法政、立教大学が加盟して



います。国立大学の東大には私立大学の他大とは
 違い、スポーツ推薦がありません。また、他大に
 は甲子園で活躍した有名選手がたくさんいます。
 そういう相手と対戦できることは非常に魅力的で、
 やり甲斐でもあります。もちろん他大学とは力量
 差がありますが、毎年最下位脱出を目指して健闘
 しています。

東大野球部は基本週6日で活動しており、日中
 に午前/午後の2部で練習しています。ただ練習
 しては力量差がある相手には勝てません。具
 体的な取り組みとしてメカニクス面から打撃向上

を図ったり、栄養管理など各々が勉強し共有し合っています。近年ではラプソードという機材を導入するなど、データ等の数字を意識しています。また東大はリーグトップの盗塁数を誇り、俊足を生かし走塁練習も活発に行っています。

私自身の話になりますが、大学野球の門を叩いて身体も一回り大きくなり、メカニクスの勉強をするなど知識をつけて効率良く練習しています。来年のチームではベンチ入り、大学4年時にはスタメンをとれるよう日々精進していきますので、応援のほどよろしく願います。

水戸一高野球部の皆さんへ、まずは近年の著しい活躍を誇りに思っています。記事にもよく取り上げられ、全国的に有名になっているのを肌で感じています。大学で改めて気付かされましたが、想像以上に多くの方に応援されています。その気持ちを忘れずに日々文武に努力してください。

また、進学校が強豪私学に勝つために思考力を駆使して取り組んでみてください。その経験がいつか必ず役に立つと思います。

これからも更なる飛躍を期待しています。また、大学でお待ちしています。

Ⅳ 令和4年度前半報告

事務局長 森 利克

前会報第28号発行（令和4年3月1日）以降の活動状況と野球部に関わる動きを報告します。

(1) 本会報では、新しい転機を迎えた硬式野球部を激励し、会員の皆様の応援機運をさらに盛り上げるため、①野球聖地・名所150選、②野球特色選抜入試、③新チーム紹介、を特集してみました。

(2) 日本へ野球が伝来して150年となるのを記念した日本野球機構と全日本野球協会による聖地名所150選定事業で、茨城県からはノーブルホームスタジアム水戸と水戸一高が選ばれました。

事業に関わられた水府倶楽部江幡秀則氏（昭和47年卒）にその紹介記事をお寄せいただきました。

高等学校関係では、他に旧和歌山中学校運動場スタンド（現：桐蔭高）と徳島県立城南高等学校「徳島野球発祥の地」石碑が選ばれました。

なお、江幡氏はヤクルト球団の専務として活躍中であり、毎年多量の練習球を提供いただいたり、後輩部員たちへの講話もされています。

(3) 本年度から導入された野球特色選抜入試により、募集枠最大の7名が、一般入試も含め計14名が入部しました。

先月の茨城大会では二試合ともに新入部員4名が先発出場し、途中出場を含め5名が活躍しました。第二シード校（つくば秀英）相手に1-2と善戦惜敗しましたが、今後の活躍が期待されます。

(4) 先月の茨城大会終了後に新チームが発足し、主将に二年生の村田君、副主将に一年生の秋田君、園部君、津田君、渡辺君が就きました。部員は二年生5名、一年生14名、計19名となりました。

(5) 野球部からの要請により、4月の県外遠征バス代として145,000円を支援しました。また老朽化した校内野球グラウンド案内放送設備を更新する計画を進めており、今秋提供できる見込みです。

費用はおよそ50万円となる見込みです。

(6) 8月1日（月）に学校説明会の一環として硬式野球部体験会が行われ、例年より多い43名の中学球児と保護者の皆様が参加されました。大子、龍ヶ崎、つくば、下館など遠方からの参加者も多く、また、シニアやボーイズなどに所属する硬式野球経験者も10名以上含まれていたようです。



体験会に参加した中学球児
(令和4年8月1日)

(7) 下表に示した5名の方々が新たに入学されました。よろしく願います。

新入会員（令和4年4月以降確定分）

No	氏名	居住地	備考
1	江幡 秀則	龍ヶ崎市	知道会会員（昭和47年卒）
2	鈴木 敏之	水戸市	知道会会員（昭和40年卒）
3	平吹 紹浩	水戸市	平成19年卒父母の会会員（再入会）
4	藤田 匡邦	水戸市	知道会会員（昭和39年卒）
5	宮田 勇	水戸市	知道会会員（昭和39年卒）

(8) シリーズ記事「大学野球を目指す後輩部員たちへ」には、東京大学の野球部で活躍中の見坂恒輝さん（令和3年卒）に寄稿いただきました。

(9) お知らせ…応援タオルの販売について
父母の会が作製

した応援タオル
(約21cm×ヨコ116cm)



高応援者向けに915円で販売中です。購入希望のご連絡は下記に願います。

父母の会 村田

メール：mmmuuu0923@icloud.com

V お知らせ

早慶戦120周年記念 全早慶野球戦茨城大会開催ご案内とご協賛募集について

小室 吏 水府倶楽部広報委員長 昭和55年卒

1903年の早慶戦誕生から数えて120周年となることを記念した全早慶野球茨城大会の開催が決定しました。早稲田大学と慶応義塾による野球対抗戦はアマチュア野球界において大変な人気を博すとともに数々の歴史に残る名勝負が繰り広げられてきました。飛田穂洲氏、石井連藏氏という二人の早大野球部監督を輩出した水戸一高（水戸中学）にとっても極めてゆかりの深い両校による対抗戦が茨城県にて「全早慶野球戦（※）」として開催されるのは35年振りとなります。是非ともたくさんの皆様にご来場・ご観戦頂きますようお願い申し上げます。

（※）全早慶戦とは両校の現役大学生選手とOB選手（社会人）を交えたチーム同士による対抗戦です。

一般入場券販売は9月中旬予定、また別途特別招待券付きご協賛を募ることとなりました。是非ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

早慶戦120周年記念 全早慶野球戦茨城大会 開催概要

【実施日】 令和4年11月27日（日） 【場所】 ひたちなか市市民球場

【主管】 全早慶野球戦茨城大会実行委員会（早大校友会茨城支部／茨城三田会）

【入場料】（予定） 一般：前売り 2,000円（当日2,500円）※一般内野席
高校生：前売り 500円（当日800円）※一般内野席
中学生以下：無料 ※内野2階席/外野芝生席に限る

【一般入場券販売】 チケットぴあ（9月中旬予定）

ご協賛募集要項

◇協賛金：1口／10,000円

特典：・ご招待券2枚進呈（特別内野席）（11/10頃発送予定。雨天順延の場合がございます。）
・大会パンフレットご芳名掲載（※掲載不要時は申込時にお申出ください。）

◇募集期限：令和4年9月30日

◇申込方法：以下①～④の必要事項をご記入のうえ実行委員会事務局までFAXまたはE-mailにてお申込

①氏名（「三の丸倶楽部」を氏名前にご記入下さい。例：三の丸倶楽部・小室吏）、

②住所（ご招待券郵送先）、③連絡先（電話番号／E-mail）、④申込口数

◇支払振込口座：下記指定口座へお振込下さい。

（振込人名に「3C」を氏名前にご記入下さい。例：3Cコムロサトシ）

常陽銀行 本店営業部（普）口座名：全早慶野球戦茨城大会実行委員会

口座番号：3892937（振込料はご負担願います）

<お問合せ先> 全早慶野球戦茨城大会実行委員会事務局

〒310-0021 茨城県水戸市南町3-2-22-1204 電話：090-3044-5135 担当：ヤス

電話・FAX：029-227-0831 E-mail：allsoukei89ibaraki@gmail.com

VI 硬式野球部 名簿

（敬称略）



木村監督

高橋コーチ

部長 井坂 拓海
顧問 太田 泰助 小島 淳 鈴木 達也（附属中）
監督 木村 優介
コーチ 高橋 直樹



※部員については、本誌「I-3 部員たちの決意（部員紹介）」をご覧ください。

Ⅶ 試合結果・公式戦予定

令和4年前半 練習試合結果

月	日	球 場	結 果	備 考
3	24	水海道	△7-7水海道一 ○6-5 "	
	26	ノブルホーム スタジアム	●3-7牛久 ●5-9 "	
	29	関東一	●4-16関東一 ●2-11 "	
	30	江戸崎総合	●6-30江戸崎総合	
4	2	向上	●6-8向上(神奈川県私立) ●0-6 "	4回終了
	3	日立北	○5-1日立北	
	9	桜ノ牧	●6-17桜ノ牧 ○10-8 "	7回終了
	16	國學院栃木	●2-3國學院栃木 ○7-4勝田工	
	17	勝田工	2-6 " ●9-13 "	一年生・3回終了
	24	勝田	○9-4つくば東風 ○11-6勝田	
5	1	土浦一	△4-4土浦一 ●9-10 "	
	3	栃木翔南	●3-8栃木翔南 ○5-4足利南	
	4	宇都宮	●2-21宇都宮 ●11-12 "	6回終了
	8	水戸一	○9-5緑岡 ●5-7湯本(福島県立)	
	21	小山西	●2-7小山西 ○5-3足利大付	
6	22	常陸大宮 市民	△7-7太田一 ○12-10佐原(千葉県立)	
	5	石橋	●1-8石橋(栃木県立) ●5-7 "	2チーム編成
		牛久	●8-14下館工 ●3-20牛久	
	11	磐城	●1-6磐城 ●5-6 "	
		12	水戸一	●2-3不動ヶ岡(埼玉県立) ●3-7 "
	20	岩瀬日大	●1-12岩瀬日大 ●4-19 "	
		浦和学院	●6-13浦和学院	一年生チーム
	21	作新学院	●6-8作新学院	
	26	水戸一	△2-2匝瑳(千葉県立) ●3-5 "	そうさ
	7	2	水戸一	△2-2栃木農 ●5-8牛久
3		水戸一	●5-6伊勢崎工(群馬県立) 3-10 "	雷雨中止

以下新チーム

月	日	球 場	結 果	備 考
7	24	常陸大宮 市民	●4-21日立一 ●8-12 "	
8	6	佐和	●5-7佐和 ●2-12 "	
	9	水戸農	●8-9水戸農 ●7-8 "	
	12	太田西山	○4-0太田西山	
	14	水戸一	●1-4鹿沼(栃木県立) ○8-7 "	

令和4年前半 公式戦・準公式・定期戦結果

月	日	大 会	球 場	結 果
1	2	現役対OB戦・ぶた汁会	水戸一	中止
4	12	春季地区大会一回戦	笠間市民	●7-17緑岡(5回コールド)
5	28	水無月杯	水戸農	●6-9水戸工
7	9	茨城大会 一回戦	ひたちなか市民	○4-1波崎
	13	" 二回戦	ノブルホームスタジアム	●1-2つくば秀英
8	17	ジュニア大会 一回戦	笠間市民	○14-7緑岡(7回コールド)
	19	" 二回戦	茨城東	●0-3常磐大高

令和4年後半 公式戦・定期戦・他予定(令和4年9月1日以降)

年	月	日(曜)	大 会 名	
令和4年	9月	6日(火)	秋季地区大会組合せ抽選会	
		9日(金)~13日(火)	秋季水戸地区大会	
		16日(金)	秋季県大会組合せ抽選会	
		22日(木)~24日(土)	秋季県大会一・二回戦	
		26日(月)	" 三回戦(21世紀枠選考基準)	
		28日(水)	" 準々決勝	
		30日(金)	" 準決勝(関東大会出場決定戦)	
		10月	2日(日)	" 決勝
			11日(火)	秋季関東大会組合せ抽選会(毎日新聞本社)
			22日(土)~24日(月)	秋季関東大会一・二回戦(埼玉県)
	29日(土)		" 準決勝	
	30日(日)		" 決勝	
	11月			神無月杯(一年生大会)
		26日(土)		水商定期戦
		27日(日)		全早慶戦茨城大会(ひたちなか市民球場)
令和5年		1月	2日(月)	現役対OB戦・ぶた汁会(H)
		3月	11日(土)	練習試合解禁日

今後の試合予定は三の丸倶楽部ホームページの試合予定でご確認ください。

三の丸倶楽部

顧問：稲葉 節生(元茨城県教育長、知道会会長)
 会長：鬼澤 邦夫(常陽銀行元会長)
 事務局長：森 利克
 幹事：照沼 貞夫(H20年卒父母の会)
 鹿島 陽夫
 船橋 信正(水府倶楽部幹事長)
 飯田 芳久
 蒲原 博(R元年度父母の会会長)

==== 会員を募集しています =====
 ◇どなたでも入会できます。
 ◇特典：会員帽子の配付(入会時)
 会報(年2回)の送付
 ホームページ「試合予定」、「試合結果」詳細の閲覧など
 ◇年会費：一口 3,000円(何口でも可)
 ◇振込先：常陽銀行本店営業部
 普通 2945619
 サンノマルクラブ カイケイ カシマタカオ
 ◇手続き：氏名、住所、TEL番号、メールアドレスを下記までご連絡ください。
 森利克 TEL : 090-3315-1351
 E-mail : mfhsbcba@net1.jway.ne.jp
 又はホームページ(http://sannomaru-club.com)からご連絡ください。

編集後記 今年はず夏のスタンドに、全校応援、応援団リーダー、プラバンが戻ってきた。コロナ禍の収束が見えない中ではあるが、いつもの高校野球に戻りつつある夏の大会だった。一高は二回戦でシード高に敗れはしたものの、その戦いぶりは、新チームの秋以降の成長と活躍を期待させてくれるものだった。(照沼)